

(ひと月の活動の振り返り)

①飛鳥観光協会での業務

店頭の状態としては、先の見えない新型コロナウイルスの影響から来館者・観光客数は激減しています。電車で来られる方、自動車で来られる方も減り、観光バスでの来訪は先月同様ありません。

また、お天気はほぼ快晴に恵まれたのと一方では梅雨明けから一転、夏の本格的な暑さにより、観光されるお客様には更に厳しい状況となりました。店頭や事務所内の業務を通じて、せっかく観光にお見えになられた方には精一杯のおもてなし、お心配りをするように引き続きスタッフの方を交えて心掛け実践しました。

また、村内の情報も観光協会HPやSNS等で発信しています。

②地域との関わりの活動プラスα

*道の駅業務で出勤時に清掃を行っています。

振り返るとほぼ毎回、ほぼ同じ場所、同じ様なゴミ類（タバコの吸殻、薬の外装ほか）を拾います。週末、平日を問わず常にです。観光に見えられるお客さまが捨てるのでしょうか？…哀しいかな、答えはノーかと。せっかく、観光地として他所から他人が訪れる場所ですので、望む望まないは抜きにして、住んでいる場所を汚すのは避けられればと考えます。道の駅には使用できるゴミ箱が限られた場所、限られた時間内でしか存在してません。必要とあらば今後、声としてあげるべきでしょう。振り返って、違う角度からの地域との関わりでした。



古宮遺跡（豊浦）

③交流人口活性化（村内・外交流のきっかけ作り）

*自己研鑽と地域活性化

- ・E-BIKE（電動アシスト付マウンテンバイク）の活用の検討と林道走行（入谷・畑・上居ほか）
- ・タンDEM自転車（二人乗り自転車）の走行企画の帯同（産経新聞社企画）

*外部交流人口活性化に向けて

- ・8月開催アマゴ掴みイベントの継続告知・宣伝実施（村内民宿の宿泊も併せて）

*自己研鑽として

- ・京都大学経営管理大学院（観光MBA）通常の講義とは別に、オンライン自主勉強会に参加（大社充先生DMO論中心）

●先月のクイズ

案内所で来訪者が一番手にするのは？

答え⇒観光MAP（当然でしたね）

●今月のクイズ

村内の大字はいくつでしょうか？



万葉展望台（上居）



タンDEM車（二人乗り自転車）